

■会務報告

松島 隆幹事

(1)帯広北RC、創立50周年記念式典開催のご案内

日 時 平成21年2月11日 (水)

登録 午後2時00分～2時30分

記念式典 午後2時30分～3時50分

記念公演 午後4時00分～4時40分

祝賀会 午後5時00分～6時30分

場 所 記念式典・記念公演 帯広市民文化ホール (小ホール)

祝賀会 ホテル日航ノースランド帯広

(2)帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内

日 時 平成21年2月18日 (水)

例 会 12:00～12:30

講 演 12:40～13:30 (50分)

例会終了 13:40

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

講 師 名取 美和様

テーマ 「母子感染したエイズ孤児の支援活動について」

尚、帯広西RC、2月12日 (木) の縦下げ例会と致します。

帯広南RC、2月16日 (月) の縦下げ例会と致します。

帯広東RC、2月17日 (火) の縦下げ例会と致します。

帯広北RC、2月20日 (金) の縦上げ例会と致します。

(3)帯広西RC、2月19日 (木) は休会と致します。

(4)第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日 時 平成21年3月8日 (日) 12:30～18:50

(プログラム概要) ①登録受付 12:30～13:00

②開会式 13:00～13:30

③講演ならびにフォーラム 13:30～16:45

●2006-08RI理事 渡辺 好政様

●RI第2500地区バストがけ 道下 俊一様

④閉会式 16:45～17:00

⑤懇親会 17:15～18:50

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

(5)帯広RC、健康診断開催のご案内

日 時 平成21年1月28日 (水)

健康診断 11:30～12:30

(6)帯広RC、第5回クラブ協議会開催のご案内

日 時 平成21年1月28日 (水) 午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

■各委員会報告 (各委員会)

・退会挨拶

金子 進会員

二年間お世話になりました。2月1日付で

関連会社のフコクエージェンシーに出向と

なりました。楽しい十勝生活を有難うござ

いました。(ニコニコ献金より)



例会日／水曜日 12:30～13:30 例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234
 ●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820 ●戦後再開／昭和25年12月19日
 事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
 ●発行／クラブ広報 ●委員長／佐藤 瞳浩・外崎 裕康・太田 隆博・大滝 欽也・高橋 勝坦
 田巻 成男・櫻井顕一郎・田村 雄司
 ●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.co.jp>

↑携帯サイトが
できました。
QRコードリーダーで読み込む
事ができます。

・ニコニコ献金 吉野 信司 親睦活動委員
 前半期が終了しました。後半期も宜しくお願ひ致します。
 ロータリー情報委員会 酒井 敬司 会員
 広報委員会委員長 佐藤 瞳浩 会員
 幹事 松島 隆 会員

神谷 昭典 会員

1月19日開催の帯広商工会議所議員会主催の合同新年パーティーで新春恒例の大抽選会で昨年に引き続き豪華景品を頂きました。

大滝 欽也 会員

(ご家族慶事) 孫が生まれました。女の子です。

橋枝 篤志 会員

先日、還暦祝いでパークゴルフのスティックを頂きました。老体にムチ打って頑張りたいと思います。ありがとうございます。

白石 俊之 会員

肺に水が溜まり、その治療中に多発性胃潰瘍で大量出血で12月10日から1ヶ月余入院しました。出席委員会の皆様にはご迷惑をお掛けしました。私の場合は時々、入院の可能性がありますが、まだお世話になります。クビにはしないで下さい。

鈴木 樹 会員

1月15日当ノースランドホテルにお世話になりました。帯広三条高校常盤同窓会の新年パーティーが800人出席のもと盛大に執り行われました。ありがとうございました。

鈴木 樹 会員

1月19日帯広商工会議所新年パーティーが北海道ホテルにて180人参加のもとさくらまやちゃん出演のもと楽しく修了することができました。ありがとうございました。

酒井 敬司 会員

本日のプログラムを担当させて頂きます。

・誕生日 増田 正二 会員

・ご結婚祝い 増田 正二 会員

■2009年1月プログラム予定

1月28日 (水) 「会員卓話」 (プログラム委員会)

北海道新聞社支社長 田村 雄司 会員

■2009年2月プログラム予定

2月 4日 「会員卓話」【その時経済は】 (プログラム委員会)

2月11日 「祭日休会」

2月18日 「帯広5RC・音更RC・芽室RC合同例会」 (世界社会奉仕委員会)

2月25日 「夜間例会」 (プログラム委員会)

第3145回例会 No.2827 平成21年1月21日

DISTRICT 2500

OBIIHIRO ROTARY CLUB

2008-09年度 国際ロータリーのテーマ
Make Dreams Real(夢をかたちに)

方針 感謝 「人は、一人で生きられない」
会長 曾我 彰夫

■プログラム

「第2500地区第6分区ガバナー補佐 奥 周盛様」

ロータリー情報委員会

1.プロローグ prologue…ロータリー理解推進月間

今日、アメリカでは第44代大統領の就任式が行われ、バラク・オバマ氏が建国史上初めての黒人大統領として、就任しました。歴史的な出来事だと思います。

本日のテーマである「決議23-34」も、ロータリーにとって、重要な歴史的決議であります。「決議23-34」は「ロータリーの奉仕の理念」と云われるだけに、非常に奥が深いテーマであることを、改めて実感しました。30分の時間では、充分なお話もできませんが、今日は、「決議23-34」に関するRIの最近の動きについてお話したいと思います。

2. 2010年の規定審議会に提出する立法案

昨年12月12日にガバナー事務所から、「2010年の規定審議会に提出する立法案について」という文書が、2500地区の67全クラブに送付されました。

その内容は、2007年度ロータリー章典から削除された「決議23-34」の第1条と第5条をロータリー章典に明記するよう国際ロータリー理事会に要請するというものです。

2010年規定審議会提出立法案

制定案1

2007年度ロータリー章典から削除された「決議23-34」の第1条を、「ロータリー章典」に明記するよう国際ロータリー理事会に要請する件

第1条 ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、奉仕「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

RC会報
今昔物語

昭和28年12月30日
例会会報



・出席報告
国島 直幸 出席副委員長
①1月21日の例会 会員総数
100名 (内出席免除会員14名)
本日の出席者数62名
②1月7日の例会のメールキャ
ップを含む出席数及び
出席率 77名 89.5%

解説：1923年、セントルイス国際大会で採択された決議23-34は、今まで数回の修正が行われ、現在の2007年度の手続要覧には「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されている。当初、この決議23-34は、「国際ロータリー並びにロータリークラブの未来の指針として、綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針を、明確に表した」ものとして採択された。しかし、時代の変遷に連れ、その内容の一部は、現在のロータリーの方針や、活動内容にそぐわない部分が認められるのも事実である。

しかし、この決議文の第1条は、私たちロータリアンにとって決して無駄な決議ではなく、この決議文は永遠にロータリアンの活動の哲学として残すべきものである。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、新しい決議文を奉仕の哲学を明確に定義した文書として「ロータリー章典」に明記・収録することを検討することを要請したい。

制定案2

2007年度ロータリー章典から削除された「決議23-34」の第5条を、「ロータリー章典」に明記するよう国際ロータリー理事会に要請する件

第5条 各ロータリークラブは、クラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利を持っている。しかし、いかなるクラブも、ロータリーの綱領を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。

そして国際ロータリーは、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与える事はあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする。

解説：国際ロータリーは、世界中のロータリークラブの連合体であり、ロータリーとは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を

守る事を奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与する事を目指し、会員が世界的に結び合った団体である。国際ロータリーの会員はロータリークラブからなり、組織規定が課する義務を遂行し続けるものとされている。

国際ロータリーの目的は、

- 1.クラブ及び地区がロータリーの綱領に基づいて推進するプログラムや活動の推進を支援すること。
- 2.全世界にわたって、ロータリーを奨励し、拡大する事。
- 3.RIの活動を調整し、これを指導する事。

であり、クラブは、ロータリーの綱領や定款に違反しない限りは、その活動や運営に関しては、自治権が認められているものと解釈される。

2500地区が2010年規定審議会に上程する立法案の文面から、「決議23-34」がロータリーの奉仕の哲学と精神の神髄を述べている貴重な文書であることが、判ると思います。

2500地区がこのような立法案を規定審議会に上程することとした、ひとつの動機は、昨年のロータリーの友9月号に掲載された、ドキュメント記事だと思います。小沢一彦RI理事と渡辺好政RI直前理事が書かれたものです。

3.「決議23-34」への熱き思い

…ロータリーの友 平成20年9月号

「決議23-34」は、これまで、ロータリー活動の進化の過程のなかで、「手続要覧」へ記載されない事態に遭遇していますが、日本のロータリアンの熱心な努力により、「手続要覧」ならびに「ロータリー章典」に記載が復活した経緯があります。現在は、「手続要覧」には「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されていますが、「ロータリー章典」では2007年から削除されました。

そして2007年11月のRI理事会において、驚くべき出来事がありました。

ロータリーの友9月号に掲載されたそのドキュメントは、理事会執行委員会に提出されようとしている次のような議案を、当時執行委員であった渡辺好政RI理事が気付いたところから始まります。

2007年11月理事会会合、草案X-5

事務総長およびビル・サージェント元RI副会長により提案された決議案

X-5.社会奉仕に関する声明

決定：理事会は

- 1.社会奉仕に関する1923年の声明が、もはや社会奉仕の理念ならびに国際ロータリーとそのクラブの原理を正確に記すものではないと判断する。
- 2.今後の「ロータリー章典」および「手続要覧」の改訂版からこの声明を削除するよう、事務総長に要請する。

渡辺好政RI理事は、日本のロータリアンにとって、「決議23-34」は、ロータリー活動の精神的な支えで

あることを訴え、事務総長に善処を申し入れた結果、第2項目については文章を次のように変更することで折り合い、最終的な結論は、次回1月の理事会に持ち越されました。

2.今後の「手続要覧」および「ロータリー章典」の改訂版に歴史的文書を保存する新しい形式を提案し、2008年1月の理事会会合においてそれを報告するよう、事務総長に要請する。

そして、2008年1月理事会会合に提出する草案とは、次のような文書でした。

2008年1月理事会会合、草案B-11

事務総長の提案による決議案

B-11.「手続要覧」および「ロータリー章典」に歴史的文書を保存すること。

決定：理事会は

- 1.以下の通り、「ロータリー章典」を修正する。

1.120.歴史的文書

ここに記載されている方針および手続に加えて、過去のRI理事会および国際大会の決定と声明の中には、ロータリアンにとって歴史的な価値を持つものも存在する。このような決定と声明は、現在のRIの方針には適わないものとなっているかもしれないが、歴史的な目的においてロータリアンならびにロータリー・クラブが引き続き参照することが出来るものである。事務総長は、過去の方針、手続、声明のうち、ロータリアンにとって歴史的な価値を持つものすべてのリストを保管するよう務める。

2.今後の「手続要覧」の改訂版に、類似した声明を記載するよう、事務総長に要請する。

決議23-34の全文を、「手続要覧」と「ロータリー章典」に引き続き掲載されることを願う日本のロータリアンにとって、単にリストとしてファイル名だけが保存されるというこの決議案の内容は、到底納得できるものではありません。

しかし、日本の理事らの訴えに対するRI事務局の抵抗は想像以上に強いようです。

最終的には、次のような修正案で決着を見ることになりました。

2008年1月理事会会合 草案B-11の修正案

執行委員会により推奨された決定決議案

事務総長により提案された決議案

B-11.「手続要覧」および「ロータリー章典」に歴史的文書を保存すること

決定：理事会は、事務総長に以下を要請する。

1.今後の「手続要覧」の改訂版に、社会奉仕に関する1923年の声明を歴史的文書として保存すること。

2.1923年の声明が歴史的な価値を有するものとして、「手続要覧」に記載されていることを言及する文を「ロータリー章典」に含めること。

4.「決議23-34」とポリオ撲滅運動

これまで、イギリスを始めとするヨーロッパでは、「決議23-34」を煩わしく思っているロータリアンが多いと聞いています。それは、職業に対する思想、信条がアメリカとは違うという、彼らの自負によるものと云われてきましたが、今回の論争の理由は少し違うようです。

冒頭、2007年11月理事会の草案X-5の筆頭発議者である、ビル・サージェント元RI副会長は、ポリオ撲滅を図るRIで最も熱心な推進役であり、RIポリオ・プラス委員会の直前委員長で現名誉委員長であります。また、元RI事務総長のハーバードA.ピグマンは、先に出版された著書「ポリオに打ち克つ」の中で、決議23-34はポリオ撲滅運動に支障があると述べています。

ポリオ撲滅運動を積極的に推進したいRI事務局にとって、決議23-34の第5条に唱われるクラブの自治権は、都合が悪いということです。このことについて、この議案を発議した関係者のことばが、田中毅PGの「決議23-34の杞憂」という資料に掲載されています。

『決議23-34は、ロータリーがアメリカ中心の組織であり、かつロータリアンの大多数が小規模な商売人で構成されていた1923年に作られたものなので、現在の状況には必ずしも適応するものではありません。決議23-34は、明らかに現在のロータリークラブにおける社会奉仕活動とは合致しませんし、これを厳守しようとすれば、私たちは何もできなくなってしまうでしょう。現に、私たちは決議23-34の原則を破って来たからこそ、3-Hやポリオ・プラスの活動ができたのです。』

また、『決議23-34は、国際ロータリーが役立つ提案をするのはかまわないが、プロジェクトを指示してはならないと定めていますが、ポリオ・プラスはこれに違反することで大きな成果をあげました。決議23-34は、他の組織が全くそれをしない場合だけ、ロータリークラブが社会奉仕プロジェクトに従事すべきであると定めていますが、この条文が好きで何もないクラブが多くみられます。

現に1947年当時私のクラブがそうでした。』

5.エピローグ epilogue

昨年、釧路の地区大会にRI会長代理としていらした藤川享胤PGが、そのひと月ほど前に開催された留辺蘂RC50周年の記念講演において、RI事務局の官僚的体質を指摘されました。

毎年役職の変わるロータリアンよりも、毎年同じ業務についている彼らの知識と経験は、優れているかもしれない。しかし、ロータリーの奉仕の理念に関しては、ロータリアンの方がすぐれている。この自覚を持ちたいと云われました。

また、ロータリーの源流を主宰する田中毅PGは、時代とともに進化するロータリー活動において、変えてはならないものと、変えなければならないもの

を見定めなければならない。奉仕の理念は、変わるものではないと、云っておられます。

ロータリーは、世界的な組織ですから、色々な考え方があるのが当然です。私たちは大勢に流されず、自分たちの足場をしっかり持ってロータリー活動をしなければならないと思います。

■会長報告



さて、日本時間で昨夜遅くにアメリカの初めての黒人であるオバマ大統領が就任しました。世界の国の指導者となる人でもありますので、注目していました。

今でも私が子供のとき、ラジオの連続ドラマ「アンクル・トムの小屋」で奴隸の物語を聞き、悲しんだのを覚えています。

家畜同然に売買され、扱いも牛馬並です。それが、わずか100年ぐらいの間でアメリカの最高指導者が黒人大統領になるなんて、誰が予想したでしょう。

それこそ彼が言う「Yes We Can」、つまり「そうです、我々はやればできるのです」確かに、この言葉は真実です。

では今日の主題で、世界のロータリークラブが特に力を入れているロータリー標語の「全ての人々にきれいな水を」について書きます。

私たちは、水道をひねればきれいな美味しい水が勢いよく出て、いくらでも飲めますし、使えます。このことを不思議にも思わないし、当たり前のように思い毎日使っています。

しかし、世界の中の何億人かの人々はかなり遠くに歩いて水を汲みに行ったり、さらにはきれいな水でなく飲料に適さない水を飲んでいます。

汚いと思ってもその水しかないので、飲まざるを得なくて伝染病等のに病気なっている例も多くあります。時には、死亡に至ることもあると思います。

水は人間にとって塩と同じく絶対に必要なものです。RIの指導により多くの各地のクラブが、井戸掘りや浄水器を取り付け、多大な貢献をしています。

このように、ロータリークラブは世界のために社会貢献を色々な形でしています。

近い将来は、この温暖化で干ばつによる水不足になり、そのために戦争さえ起こるといっています。

人間にとって必要なきれいな水を、世界中の人が十分に使える時がくることは、間違いない世界平和やその国の豊かさにも貢献します。

私たち帯広ロータリークラブのメンバーは、日本一おいしい水道水を毎日飲料にし、その水を風呂や洗濯まで使うありがたさに心から感謝したい気持ちです。もう一度、水のありがたさや地域のありがたさも再認識し、考えてみることはムダではないと思います。

■ゲスト紹介

第2500地区第6分区ガバナー補佐 奥 周盛様